

令和2年 6月定例会

福井県議会だより

第29号

審議の様子は
YouTubeを
ご覧ください



定例会の概要

6月定例会は、6月16日に開会し、7月10日まで25日間にわたって審議を行いました。

運営にあたっては、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、これまでにない様々な対策を徹底しました。議場に入る際はマスクの着用、手指の消毒を義務付けるとともに、議場の議員席、説明者席のそれぞれの間にアクリル板を設置し、こまめに換気を行いました。また傍聴席や記者席についても間隔を空けて座るよう協力を求めました。

開会日には、議長、副議長選挙が行われ、第102代議長に畑孝幸議員、第107代副議長に島田欽一議員が選出され、続けて常任委員会委員等の選任を行いました。

知事提案理由は、消費の落ち込む中小企業者への支援など新型コロナ対策に重点が置かれており、それを

受けて、代表質問と一般質問では感染の第2波に備えた医療体制、学校の休校による影響、企業支援や雇用対策など新型コロナに関連する質問が集中しました。

このほか昨年6月に設置し継続して審査を行ってきた福井県長期ビジョンに関する特別委員会では、「今後の社会経済情勢の変化を注視するとともに、適宜、検証と見直しを行い、政策・施策に反映するよう求める」との附帯決議を付けて、計画案を賛成多数で可決しました。

こうした審議を経て、今定例会では追加上程された補正予算案を含めて知事提出議案を24件、議員提出の条例案および意見書案各1件をそれぞれ可決するとともに、請願2件の採決も行い、付議された案件の審議をすべて終了しました。

正副議長インタビュー

◎就任にあたっての抱負をお聞かせください

畑 議長：新型コロナウイルス感染拡大の中、危機への対応力と地域経済の立て直しが求められています。

このような状況だからこそ、なお一層、東京一極集中の弊害を見直し、地方分散を進めることが大切です。本県の豊かな自然や悠久の歴史・文化をPRし、また三世代同居率や近居率が高く子育てしやすいといった社会基盤をより充実させ、6月議会で可決した福井県長期ビジョンで目指す持続可能な社会づくりを進めていきたいと考えています。

子育てしやすい社会基盤の充実については、おじいちゃんやおばあちゃんとのつながりの強さという潜在力を活かし、家庭での保育や教育を後押しすることも大切だと思います。県議会では、現在、議員提出条例として「福井県家庭教育支援条例（仮称）」の骨子案をまとめたところです。

また、本県は日本の真ん中に位置し交通のポテンシャルが高いので、3年後に迫った新幹線の県内開業や中部縦貫自動車道の全線開通の機会をとらえて、若者に住み続けてもらえる地域づくりにも取り組みたいと思います。

島田副議長：福井県なりの特性を活かしたまちづくりが大事だと思います。東京から地方へ回帰しようとするムードがある中で、本県には、自然や食、スローなライフスタイルが可能というすばらしい魅力があるので、これらを発信することが大切であり、力を入れていきたいと思っています。

また、観光とは、自然や食に加え、産業、文化など、一つ一つを磨き上げることで、それらが重なり合って魅力につながるのだと思います。新しいものを追うだけでなく、地場産業や伝統産業を担う零細企業にも光を当てることが大事だと思います。

◎多忙な毎日ですが、どのようにストレスを解消されていますか。

畑 議長：自宅の裏山に登り、九頭竜川と日野川の合流地点、地元では二口河戸（ふたくちこうど）と呼んでいますが、この流れを眺めていると心が休まります。

島田副議長：小さな孫が7人おり、孫たちをからかうというか、からかわれているというか、一緒に遊んでいる時間が、今は一番心が休まります。



畑 孝幸議長

島田 欽一副議長



審議の様子は
YouTubeを
ご覧ください

代表質問

県会自民党 山岸 猛夫 議員



知事の政治姿勢について

- ・新型コロナウイルスの検査体制や医療体制および感染者の情報提供の在り方を含めて、これまでの対応の課題について何うとともに、第2波への備えにどのように活かしていくのか、今後の対応方針について知事の所見を伺う。
- ・これまでの新型コロナウイルスに関する経済雇用対策、生活支援の現状と課題を伺うとともに、6月補正予算案により十分な対応がとられるのか、あるいはさらなる追加対策が必要と考えているのか、知事の所見を伺う。

県会自民党 宮本 俊 議員



観光行政について

- ・アフターコロナを見据えた足腰の強い観光業を育成するための中長期的な観光戦略が必要と考えるが、知事の所見を伺う。

産業行政について

- ・新型コロナウイルスによる県内経済や雇用への影響について何うとともに、今後、テレワークやキャッシュレス決済の普及拡大など、非接触化や新しい生活様式に対応した経済対策が重要と考えるが、知事の所見を伺う。

民主・みらい 西畑 知佐代 議員



知事の政治姿勢について

- ・新型コロナウイルス感染症の第2波に向け、PCR検査のほか抗体検査、抗原検査も含め、本県ではどのような検査体制を構築し、県民の安全・安心を確保するのか、知事の所見を伺う。

教育行政について

- ・来年の高校入試について、学習遅れの対応や特色選抜の評価方法など、今回の感染症の影響を考慮した入試のあり方について、どのような検討が進められているのか伺う。

新型コロナウイルス感染拡大防止の取組みについて

福井県議会では、議会運営において新型コロナウイルス感染のリスクを減らすため、主に次のような対策を実施しています。コロナ禍においても議決機関としての機能を果たせるよう、臨機応変に必要な対策を進めます。

- マスク着用・入室前手指消毒・体調不良時の入室自粛
- 議員席等にアクリル板を設置
- 会議中、換気のため定期的に休憩を入れる
- 傍聴者に対しては、体調の確認、傍聴席の間隔をあけて着席を依頼



一般質問

県会自民党 清水 智信 議員



- ・コロナ後の一次産業について
 - (1) 林業
 - (2) 水産業
- ・イルミネーションエリアについて
- ・チャイルドシートについて

今回いくつか提言しましたがどれも前向きな答弁だったので良かったです。

県会自民党 山浦 光一郎 議員



- ・経済補償について
- ・コロナ後の経済社会を見据えた経済対策について
- ・今後の県内プロジェクトに対する影響について
- ・教育(遠隔授業の継続)について
- ・DV等の犯罪状況の把握について
- ・コロナ対策の成果の検証について

日本共産党福井県議会議員団 佐藤 正雄 議員



- ・コロナ禍の経営・生活支援について
 - (1) 医療機関・介護事業所への支援
 - (2) 学生支援
- ・池田中指導死事件など教育行政について
- ・コロナ禍での長期ビジョン策定について

コロナ禍で苦しむ医療機関などへの公的支援を求める声に応えていきます！

県会自民党 田中 三津彦 議員



- ・恐竜博物館及び恐竜研究について
- ・防災体制の見直しについて

コロナ後の防災体制の見直しは、県民の命に直結する課題です。

公明党 西本 恵一 議員



- ・新型コロナウイルス感染症対策について
 - (1) 医療体制
 - (2) 企業支援

コロナ第2波に向けて万全の対策を！

県会自民党 大森 哲男 議員



- ・新型コロナウイルス感染症との共生について
- ・医療行政について
- ・ものづくり補助金の活用促進について

「ウィズコロナ」どう生き抜き、アフターコロナの時代はどうなるか？！

民主・みらい 野田 哲生 議員



- ・新型コロナウイルス感染症対策の隔離と情報の周知について
- ・介護施設の課題と今後の福祉支援ネットワークについて
- ・福井県の芸術・文化復興への意気込みについて

コロナ対策の課題を改善し、第2波を最小限に食い止めるよう議論を深めました。

県会自民党 山本 建 議員



- ・国内シェア96%を誇るメガネ産地の危機的状況について
- ・GIGAスクール(1人1台タブレット端末)について
- ・部活動の在り方について

新型コロナの影響を受けられた方々の支援に引き続き取り組んで参ります。

県会自民党 松崎 雄城 議員



- ・福井県版コロナ対策について
- ・福井県の内需拡大について
- ・県立大学の新学科設立について

中小企業への新型コロナウイルス対策支援や、地方発展について質問致しました。

民主・みらい 北川 博規 議員



- ・教員配置について
- ・新型コロナウイルス感染症とこれからの教育について
- ・子ども食堂への支援について

子どもたちの安全を最優先に、県としての指導力を発揮していただきたい。

県会自民党 長田 光広 議員



- ・観光振興について
- ・北陸新幹線の建設工事について
- ・並行在来線について
- ・水産業の振興について
- ・学校における新型コロナウイルス感染症への対応について
- ・スマートエリアの構築について
- ・道路の区画線等について

県会自民党 小寺 惣吉 議員



- ・第3期福井県教育振興基本計画について
- ・県立大学について
- ・農業振興について
- ・福井空港について
- ・福井港について

明日は今日の未来、かけがえのないふるさと、確かな明日の為に頑張ろう！



審議の様子は
YouTubeを
ご覧ください

一般質問

民主・みらい 渡辺 大輔 議員



- ・学校の感染防止対策について
- ・県内バス事業者への支援策について
- ・労働・雇用問題について
- ・長期ビジョンについて

コロナ禍での学校教育、雇用問題などに対し、県の効果的な施策を求めました。

民主・みらい 辻 一憲 議員



- ・新型コロナウイルス対策の検査・医療・福祉について
- ・経済・観光・交通支援について
- ・長期ビジョンと共生の取り組みについて

県多文化共生推進プランの作成が進むことになりました！

無所属 細川 かをり 議員



- ・新型コロナ禍について
- (1) 感染者の立場からの検証
- (2) 子どもの健全育成
- (3) 新しい生活様式・巣ごもり需要と地域産業

感染者の方々にお話を伺って、その厳しい実情からの質問です。

予算決算特別委員会では、西本 恵一 議員、長田 光広 議員、田中 三津彦 議員、野田 哲生 議員、宮本 俊 議員、辻 一憲 議員も質問を行っています。

代表質問、一般質問を行った議員は、この欄には掲載していませんが、質問項目や審議の様子は、議会ホームページやYouTubeでご覧になれます。

予算決算特別委員会

県会自民党 田村 康夫 議員（令和2年7月10日辞職）



- ・新型コロナウイルス感染症対策関連について
- ・嶺北忠霊場について
- ・サンドーム福井について

17年69回目、最後の定例会にて新型コロナウイルスと地元課題に触れた。

県会自民党 力野 豊 議員



- ・エネルギー政策について
- ・観光政策について

原子力政策は国の責任で!!知事は立地地域の代表として強く進言するべき!

県会自民党 西本 正俊 議員



- ・コロナ禍への対応と今後の戦略について
- ・嶺南Eコースト計画について

コロナ禍において「命と経済」の両立の必要性に関し知事の認識を質した。

県会自民党 仲倉 典克 議員



- ・県政全般について
- ・新型コロナウイルス感染症への対応について
- ・ふくいde泊りキャンペーンについて
- ・「地産地商」の推進について
- ・北陸新幹線の整備について

コロナ禍にあつて「地産地商」を一層推進しましょう。

◆本会議・委員会の傍聴のお知らせ

本会議の傍聴は、当日の先着順です。議事堂2階の傍聴席入口前で傍聴券を受け取り、入場してください。傍聴席には、質疑等の内容を文字データでお知らせするモニターを配置しています（代表質問および一般質問）。

委員会の傍聴は、各委員会開催日の3日前（土・日・祝日を除く）の正午までに申込みをしてください。傍聴希望者が定員を超えたときは抽選となります。

詳細は、福井県議会のホームページをご覧ください。
HP：https://www.pref.fukui.lg.jp/gikai/

◆9月定例会 会期日程

9月 8日(火)	開会
9月11日(金)	代表質問
9月16日(水)・17日(木)	一般質問
9月23日(水)	常任委員会（総務教育）
9月24日(木)	常任委員会（厚生）
9月25日(金)	常任委員会（産業）
9月28日(月)	常任委員会（土木警察）
10月 1日(木)・2日(金)	予算決算特別委員会
10月 7日(水)	閉会

常任委員会

総務教育常任委員会

本委員会に付託された「福井県県税条例の一部改正について」、「福井県個人番号の利用等に関する条例の一部改正について」などの5議案について審査を行った結果、原案どおり可決または承認しました。

所管事務の調査では、「新型コロナウイルス感染症対策のための学校休業中の学習動画」について、休業中および再開後の課題等について質疑を行いました。このほか、「部活動の位置づけ」、「新型コロナウイルス感染症対策に対応した職員の超過勤務」、「バス事業者への補助金」および「北陸新幹線敦賀・新大阪間の要請活動」などについて議論しました。



学校休業中のオンライン授業の様子

厚生常任委員会

本委員会に付託された「日本政府に「核兵器禁止条約」への賛同と批准を求める意見書の提出に関する請願」、「新型コロナウイルスの影響を大きく受ける医療機関・介護事業所の昨年度収益を確保し安全・安心の医療・介護を存続していくために新たな公的資金の導入を求める意見を国に提出することを求める請願」について審査を行った結果、不採択と決定しました。

所管事務の調査では、「新型コロナウイルス感染症に備えた避難所の運営」、「第2波における医療機関の役割分担等」について質疑を行いました。このほか、「エネルギー基本計画」、「一時保護所・児童相談所の機能強化」などについて議論しました。



厚生常任委員会の様子

産業常任委員会

本委員会に付託された「福井県森林整備地域活動支援基金条例の廃止について」の議案について審査を行った結果、原案どおり可決しました。

また、委員会から「種苗法改正に関する意見書案」を提出することを全会一致で可決しました。

所管事務の調査では、ふくい de お泊りキャンペーンに関して、「宿泊施設の新型コロナウイルス感染症の対策」「キャンペーン第2弾の実施」、「キャンペーンの実施による経済効果」などについて質疑を行いました。このほか、「今後の消費喚起」、「外国人労働者の雇用状況」、「県産材の生産拡大」などについて議論しました。



水稲の種子

土木警察常任委員会

本委員会に付託された「県有財産の取得について」などの3議案について審査を行った結果、原案どおり可決しました。

所管事務の調査では、法改正により厳罰化されたあおり運転について、県警察の取組や客観的な証明等について質疑を行いました。このほか、「海水浴場閉鎖に伴う周辺の違法駐車対策」、「児童虐待事案への対応」、「未成年者が被害者となる性犯罪への対応」、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」、「中部縦貫自動車道大野油坂道路の早期整備」、「空き家対策」、「敦賀港の機能拡充」などについて議論しました。

ダメ！ あおり運転
運転は「思いやりとゆずりあい」

いわずゆる「あおり運転」とは？
道路交差点での定着ではありませんが、一般的に前方を走る車に対して道路を譲るよう強要する等の行為を指し、その結果として交通事故の原因となる場合があります。
こういった「あおり運転」は、重大な交通事故につながる大規模な行為で、道路交通法等により処罰の対象となる場合があります。

妨害を目的とする運転の態様(例)

① 前方を走る車を急接近して、急ブレーキを踏ませるなどの運転	② 前方を走る車を急接近して、急ハンドルを切らせるなどの運転
③ 前方を走る車を急接近して、急加速を促させるなどの運転	④ 前方を走る車を急接近して、急減速を促させるなどの運転
⑤ 前方を走る車を急接近して、急減速を促させるなどの運転	⑥ 前方を走る車を急接近して、急加速を促させるなどの運転

もし「あおり運転」行為を受けた場合は・・・

- ★ 近くの警察署やサービスエリア等の安全な場所に避難するとともに、ドライロックを。車を止めた状態で110番通報してください！
- ★ 同乗者がいる場合は、ナンバー等の記録や110番通報を待たずに逃げてください！
- ★ ドライブレコーダーやカメラ等を有効に活用してください！

福井県警察
あおり運転についての
県警察ホームページでの広報



審議の様子は
YouTubeを
ご覧ください

予算決算特別委員会

本委員会に付託された「令和2年度福井県一般会計補正予算」などの8議案について審議を行った結果、原案どおり可決または承認しました。

審査の過程であった主な質疑や意見は次のとおりです。

新型コロナウイルス感染症対策

県内経済への影響についての質問に対し、「県内の約8割の企業で売上げが減少しており、経済の落ち込みは非常に厳しい状況にある」との回答がありました。



検査機器を操作する様子

また、今後の休業要請の在り方と経済活動の両立についての質問に対し、「新しい生活様式を取り入れ、業種ごとのガイドラインを守っていただくことが大事であり、クラスターが発生した場合には、早々に大規模な検査を実施し、休業要請は一部の業種、地域に絞るなど対策を講じたい」との回答がありました。

さらに、検査体制についての質問に対し、「唾液の検体採取については、一般の病院や診療所に、抗原検査については、実施可能な医療機関に実施の呼びかけを行い、検体採取できるところを増やしていきたい」との回答がありました。

委員からは、全国初となった県民向けのマスク購入券の配布など独自政策への評価の声と、第2波に向けて、休業要請の対象業種や補償などについて、県民の声を取り入れた柔軟な対応を求める意見が多くありました。

その他

教育行政、北陸新幹線の整備、災害対策、チャレンジ2020、県都福井駅前のまちづくり、エネルギー政策、サンドーム福井の利活用策、警察行政など多岐にわたり、それぞれ理事者の考え方や対応について質疑を行いました。



審議の様子は
YouTubeを
ご覧ください

福井県長期ビジョンに関する特別委員会

本委員会に付託された案件について、知事に出席を求め審査を行いました。

その結果、「福井県長期ビジョンの策定について」、「第二期ふくい創生・人口減少対策戦略の策定について」は原案のとおり可決しました。

なお、前者については、今回の新型コロナウイルス感染症拡大の影響を踏まえて、「県は、今後の社会経済情勢の変化を注視するとともに、適宜、長期ビジョンについて検証と見直しを行い、政策・施策に反映するよう求める」との意見を添えました。

以上のとおり、付託された議案が可決されたことにより、福井県長期ビジョンに関する特別委員会の審査は終了することとし、この旨、議長に報告しました。

審査の過程で出された主な意見は、次のとおりです。

「コロナ禍により、日本の国土計画も変わってくる。我々が想像し得ない社会へ変貌を遂げていこうとする中で、2040年の姿を正確に反映していくのは難しい。ビジョンもそれに合わせて柔軟に見直して実行していくことが必要」「アフターコロナ時代を迎える数年後に向け大きな成長の芽を見つけ、福井の位置を大きく変えるための強気の戦略が求められる。2年後をめぐりにより進化したビジョン策定に取り組むべき」

これまでの議会での議論を踏まえて、新たに示された基本目標「活力人口100万人ふくい」について、「定住人口の確保に加えて、交流人口、さらには新しい概念である関係人口を組み合わせる100万人を目指していくとのこと。目標として掲げる以上は数値的達成状況の把握、検証、政策的な見直しが必要」

特集 福井県長期ビジョンについて



昨年9月議会で「福井県長期ビジョンに関する特別委員会」を設置し継続して審査を行ってきた長期ビジョンについて、今定例会で原案のとおり可決しました。（委員会が出された主な意見について7ページに紹介）

長期ビジョンは将来構想、実行プラン、地域プランの3部で構成されています。将来構想では、目標年次や基本理念、委員会での議論を踏まえた基本目標などを、実行プランでは、今後5年間で実行する政策をまとめます。

特に、新幹線県内開業等を迎える最初の5年間は、2040年に福井県が目指す3つの姿のうち、「飛躍するふくい」の実現に向けた戦略を「新時代スタートアッププロジェクト」と位置付け、重点的に実行します。

《福井県長期ビジョンの概要》

（目標年次）2040年

（基本理念）「安心のふくい」を未来につなぎ、もっと挑戦!もっとおもしろく!

長い歴史の中で先人たちが培ってきた「安心と信頼」のふくいを、みんなで守り、次世代に引き継ぎます。さらに、その安定した社会基盤をもとに、誰もが夢や希望をもって自分らしくチャレンジでき、相互に応援し合う、もっとワクワク・ドキドキする「おもしろい!」ふくいを目指します。

（基本目標）しあわせ先進モデル 活力人口100万人ふくい

高速交通・物流網の早期完成により、日本海国土軸の中心に位置する本県が「国土の新拠点」に。千年を超える歴史と文化に一段と磨きをかけ、国内外から多くの人々が往来。日本一の人材力・技術力を活かした新たな産業が集積し、「幸福度日本一」の質の高い暮らしを実現する、新時代の活力と楽しさあふれるふくいを築きます。

※活力人口100万人…定住人口の確保に加え、交流人口・関係人口を拡大し、内と外が活発に交わることで、福井の活力を一段と向上

（2040年に福井県が目指す姿）

SDGs(誰一人取り残さない。持続可能で多様性と包摂性のある社会)の理念に沿いながら、3つの姿を目指します。

実行
プラン

最初の5年間は「飛躍するふくい」の実現に向けた戦略を最重点化し実行

自信と誇りのふくい

「ふくいらしさ」を大切に。県民が誇りをもって暮らすことにより、さらに多くの人を呼び込む「ふくい」
「ふくいらしさ」を伸ばし、外に開いて人を呼び込む。

誰もが主役のふくい

すべての人が輝き、互いに支え合い、幸せを実感しながら、将来にわたり安心して暮らせる「ふくい」
多様な個性を大事にし、みんなが自分らしく輝く。

飛躍するふくい

交通体系の進展や技術革新を活かして、産業の新たな可能性を拓く。創造的で活力ある「ふくい」
変化をチャンスに、しごととくらしを創造。

新時代スタートアッププロジェクト

「飛躍するふくい」の実現に向けた2020～2024年度の最重点化プロジェクト

【コンセプト】 \ とながろう、ふくい /

とんがってるからおもしろい
チャレンジするからおもしろい
やってみたらにチャレンジ!
ワクワクドキドキのふくいをつくる!!

ふくいエンタメ計画
～ふくいの魅力を
とがらせよう～

「ふくいをもっとおもしろく」を
合言葉に、

観光、文化、スポーツ等の
尖った魅力で多くの人を
呼び込み、県民も来訪者も、
誰もが楽しめる場所・機会
を創出



【目標】
ビジット2000

年間来訪者数 2,000万人 (2024年)

次世代チャレンジ宣言
～チャレンジで
未来をつくらう～

「果敢なチャレンジ」で
ふくいの未来を創造。

「次世代ファースト」の
観点から、創業支援、
働き方改革等により若者
に魅力ある仕事を創り、
尖った企業・人材を輩出



【目標】
スタート3000

新規創業・事業再興等の件数 3,000件
(2020～2024年度)

しあわせアクション運動
～一人ひとりが
プレイヤーになろう～

「一人ひとりの小さなアク
ション」がふくいを変える。

それぞれが自分の立場で
できることを考え、持ち寄
る「県民総参加」の社会を
形成



【目標】
アクション1000

県民の生活改善活動参加 1,000件
(2020～2024年度)

新幹線開業等を機に、外に開いて人を呼び込み、「県民参加」と「市町協働」によって、「行政だけが担うプロジェクト」ではなく「一人ひとりが参加し育てるプロジェクト」に

詳しくは、福井県ホームページをご覧ください。 <https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/seiki/vision2019/top.html>

「福井県議会だより」へのご感想を
お聞かせください。

福井県議会ホームページの「福井県議会だよりアンケート」のページから、ご感想、ご意見を願います。



発行 福井県議会広報会議

〒910-8580 福井市大手3丁目17-1

福井県議会 議会局総務課

電話：0776-20-0605 F A X：0776-20-0674

HP： <https://www.pref.fukui.lg.jp/gikai/>

令和2年8月12日発行